

「まなぜミ 県大教員プログラム」(第1期)実施報告書

参加者:	大社高校生 28名(1年生4名、2年生16名、3年生8名)
	県立大学生 人間文化学部保育教育学科のみなさん、地域文化学科のみなさん
内容・日程:	8:40 有朋館集合・事前指導、大社高校出発(9:15)(貸切バス)
	10:00 島根県立大学(松江キャンパス)到着
	10:10 島根県立大学での学びについて(概要説明)
	10:40~12:10 希望した講義にわかれて参加「保育教育学科:初等算数科教育法」 「地域文化学科:しまね歴史探訪」
	講義の後半、大学生との座談会(大学生活について)に参加
	12:10~ 学内ツアー、昼食(学食利用:唐揚げ定食・油淋鶏定食)
	14:00 島根県立大学発(貸切バス)~大社高校到着・解散



当日の様子

大社高校生は、事前学習で回答した「小学校志望」と「中高志望」により、講義も2つに分かれて受講しました。「小学校志望」のみなさんは「初等算数科教育法」講義を、「中高志望」のみなさんは「しまね歴史探訪」講義を受講しました。両講義ともに、前半は大学生が受講する姿を見学しました。「初等算数科教育法」では、「全国统一小学生テスト(算数)」での子どもたちの正答率の高かった問題・低かった問題を予測し、その理由について議論する時間がありました。高校生も交じり、大学生と積極的に意見を交わしていました。また、講義の後半では、それぞれの学科の大学生と高校生との座談会の時間をとっていただき、学生生活や高校時代のことなど多岐にわたる質問をしたり、学生の方から高校生の将来の夢を聞いたり、貴重な情報共有の時間となりました。大学生との交流の場面では、大学生のコミュニケーションスキルの高さ

を目の当たりにし、日頃から意見交流の機会を大切にされていることを改めて感じました。また、昼食は学生に交じって学食を利用しました。定食の唐揚げや油淋鶏をおいしくいただきました（希望者）。

次回（第Ⅱ期）は、12/4(木)出雲市立荒木小学校を訪問し、授業参観・グループ協議・懇談会を予定しています。

参加した生徒のみなさんの感想より

- 教科書などがなくプリントやパソコンに送られる資料だけで授業を進めていて面白いなと思った。また、自分が受けた授業では質問もなく静かに進められていたが、違う授業ではディスカッションが行われていて、それぞれの学習方法があってその一つ一つの授業にも意味があるんだと思った。
- 大学は、友だちと行くではなく、自分にあった大学を選ぶのがいいこと
- パンフレットに書いてある「学生の声」ではなく、実際に対面形式で勉強について学生さんと色々な話・質問をすることで、大学の授業の難易度・テストの回数・難易度などを詳しく知ることができ、とても良い学びになりました。また、高校での勉強の良い方法も教えてもらうことができたので楽しかったし、参考になりました。
- 大学生に質問をしたら、すぐ返答がきてすごいなと感じた。単位を 1,2 年のときに取らないといけない分だけ早く取っておくことがいいと教えてもらってためになった。また、質問が出なくて話が止まっていたときに大学生から話を振ってくださって展開してくださってそこが高校生とは違うなと感じた。
- 初めて大学の雰囲気を感じたけれど、想像していた部分もありつつ、講義などは想像よりも自主性が大切になると思った。